

■ 中途失聴難聴の改善しない危険例

■ モニターの方

福岡県福岡市在住 男性
53歳(測定当時)

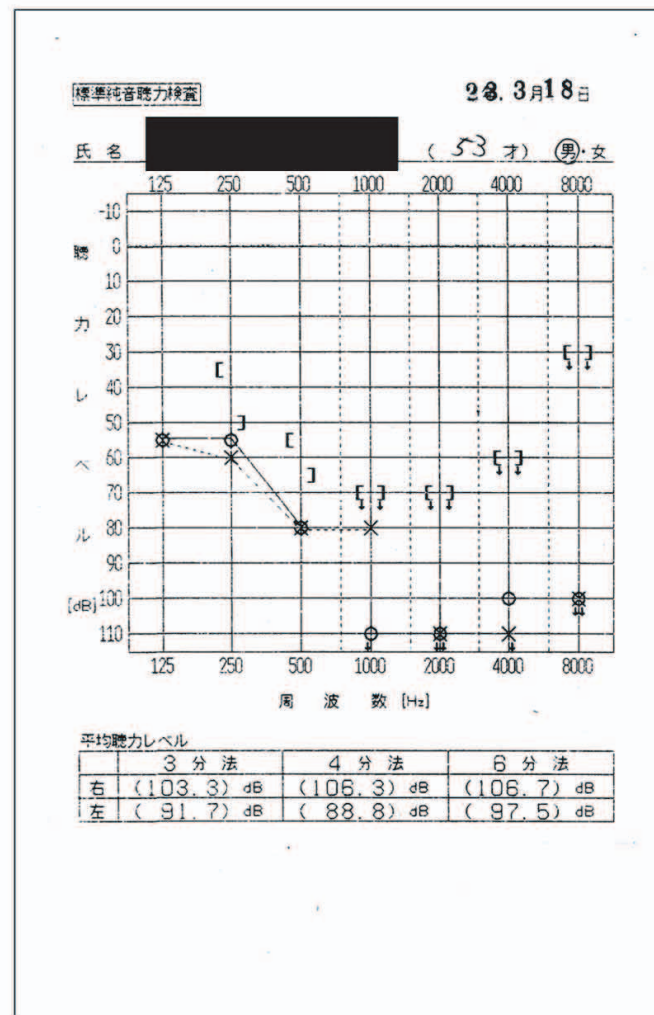
- 中途失聴(過去補聴器を使用していた)
- 当初は補聴器の代用として耳トレプレーヤー(非売品)を使用

■ トレーニング方法

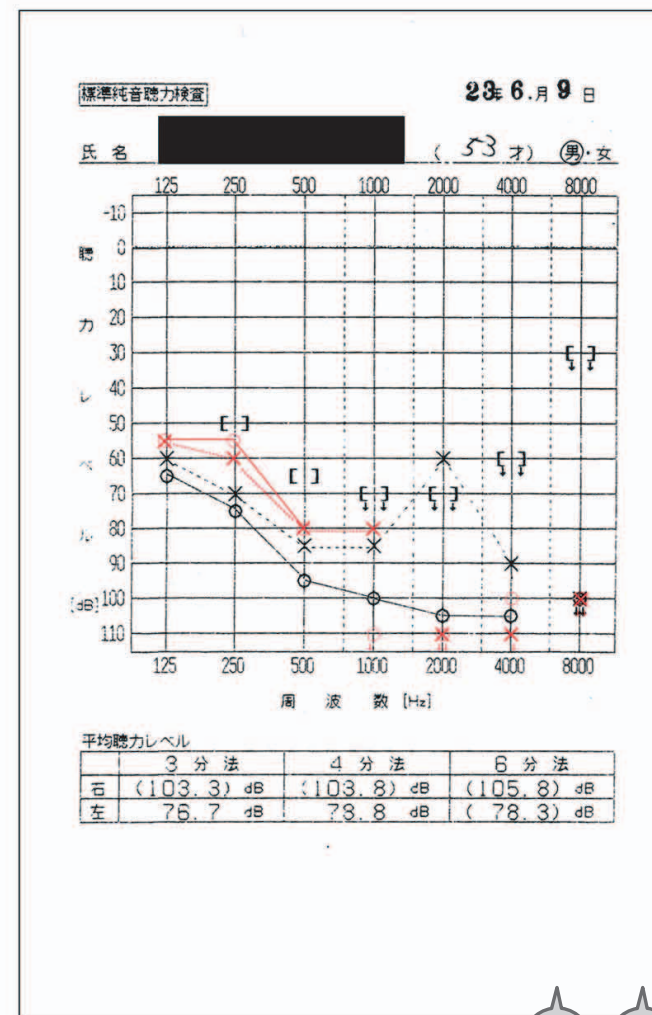
- ① 耳トレプレーヤー(非売品)で、日常の聴こえの補聴。
- ② インコイヤホンを通してテレビ鑑賞。
- ③ 篠笛耳トレ音源を不定期に約30分程度聴く。

現状

- Ⓐ 当時騒音職場に勤務。耳トレの時間は不足しているが、耳トレプレーヤー(非売品)で会話を聴く時のボリュームが下がった。
- Ⓑ 携帯電話にインコイヤホンを直接接続し、相手の声がハッキリ聴き取れるようになった。
- Ⓒ 騒音職場で集音器+インコイヤホンを大音量で使用していた。この使用方法に対し危険であると警告を行ってきたが聞き入れられず聴力の改善はしなかった。

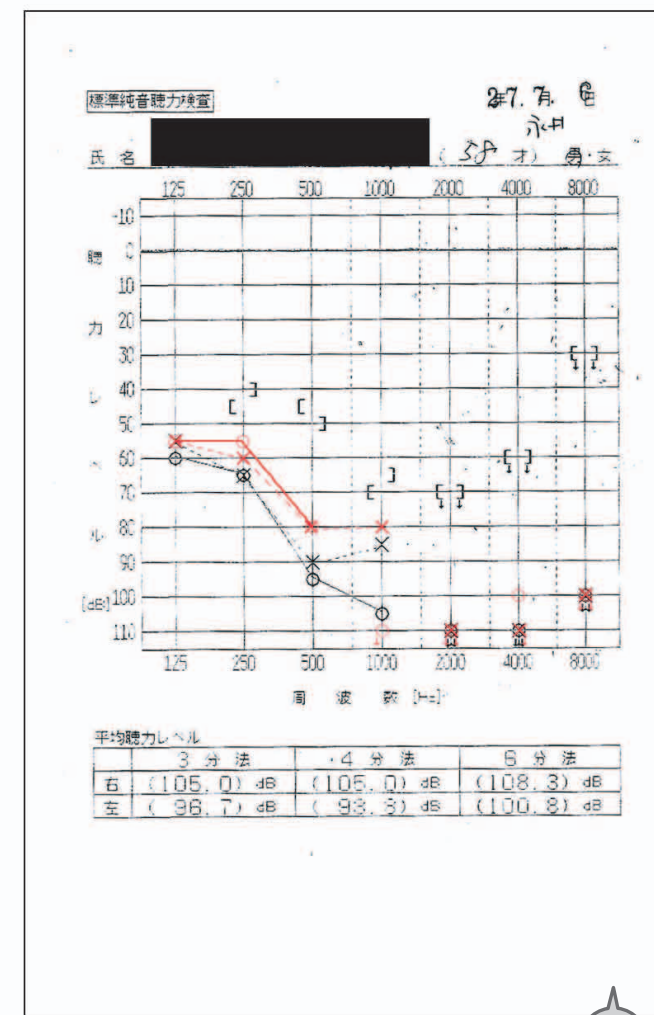


【スタート】



【耳トレ3ヶ月】

A B



【耳トレ4年】

C

※「○」…右耳、「×」…左耳 赤色表示…スタート時データ

※「↓」は測定不能(スケールアウト)でその周波数帯の一番強い音が聴こえない状態。スケールアウトがはじめて見られた以降は線で結ばない。